読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

笠岡市の笠岡第一病院で、中学生が医療現場の仕事を体験するツアーが開かれました。記事を読んで質問に答えましょう。

模擬手術、ギプス装着挑戦

笠岡第一病院 中学生の体験ツアー



腹腔鏡を使った模擬手術を体験する中学生（中央の２人）

笠岡第一病院（笠岡市横島）で24日、中学生が医療現場の仕事を体験するツアーが開かれた。生徒は医師やスタッフの説明を聞き、模擬手術やギプスの装着に挑戦した。

笠岡、井原、岡山市などの10人が参加した。腹腔鏡手術では、手術台に患者の腹に見立てた箱を置き、小さな穴から2本の鉗子を挿入。モニターに映されるカメラの映像を見て、輪ゴムをつかむ作業を繰り返した。

ギプスは水で固まる水硬性樹脂とガラス繊維のテープ製で、生徒たちはバケツに漬けた後、手首を骨折した患者役の腕に包帯の上から巻き付けていた。このほか尿管結石の治療や、超音波検査なども行った。

井原市立木之子中3年の佐能怜汰さん(14)は「将来は医師になりたいので、勉強になった。整形外科の先生が『頑張れ』と応援してくれたので、励みにしたい」と話した。

体験ツアーは医療の仕事ややりがいを知り、将来の職業選択に生かしてもらおうと同病院が企画した。（木村俊雄）

2026年10月28日付、備中面

低学年もチャレンジ！

Q１ 皆さんは、どんな仕事を体験してみたいですか。

Q２ 腹腔鏡手術の体験では、モニターに映されるカメラの映像を見て、何をつかむ作業を繰り返しましたか。

Q３ 体験で使ったギプスは何でできていますか。正しいものを選びましょう。

①時間がたてば固まるセメントとビニールテープ

②水で固まる水硬性樹脂とガラス繊維のテープ

③何重にも重ねたガーゼと不織布のテープ

過去の問題はこちらから▶▶

◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。